

附属機関等会議録

平成30年7月 日

| | |
|-----------------------|---|
| 会議の名称 | 平成30年度 第1回島田市島田宿大井川川越遺跡整備委員会 |
| 開催日時 | 13時45分から 平成30年7月12日 16時00分まで |
| 開催場所 | 島田市博物館2階 講座室 |
| 会議の議題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状の交付 （報告事項） （1）平成29年度事業について （2）平成30年度明日の川越遺跡を考えるワークショップⅡについて （3）平成30年度川会所跡発掘調査について （協議事項） （1）平成30年度事業計画について （2）島田宿大井川川越遺跡整備基本計画（案）について |
| 会議の公開又は全部若しくは一部の非公開の別 | 公開 ・ 非公開（全部 ・ 一部） |
| 会議の全部又は一部の非公開の理由 | |
| 公開の場合の傍聴人の数 | 0名 |
| 出席者の氏名等 | <p>整備委員：渡辺委員長、高瀬副委員長、建部委員・海道委員・佐藤委員・荒井委員・谷河委員・三浦委員・畑委員</p> <p>アドバイザー：山田主査（県教育委員会）</p> <p>事務局：太田課長、増田補佐、朝比奈主任学芸員、篠ヶ谷主任学芸員、望月主査</p> <p>委託業者：(株)フジヤマ社員3人</p> |
| 会議の結果 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状の交付 （報告事項） （1）平成29年度事業について <p>委員から発掘調査に伴う建物の平面プランの根拠について質問があり、川会所跡については、東西一列の礎石跡の遺構と現在残っている川会所の柱・東石位置を重ねることで推定し、七番宿跡については発掘調査で出土した石の位置と昔の登記簿に描かれた建物の位置図とを重ねて想定したと回答した。</p> |

(2) 平成30年度明日の川越遺跡を考えるワークショップⅡについて

委員から参加者の意見について、多くの来て欲しいという一方、通過交通について、車が多く入ってくることについて、抵抗はないかという質問があった。参加者からは川越街道というより河原町全体の道路改良の要望が強かった旨を回答した。

(3) 平成30年度川会所跡発掘調査について

川会所跡の建物の移築復元について周辺の土地利用も考える必要性が述べられ、移築については全体の保存と活用を踏まえ柔軟に検討すると回答した。

昨年度の建物の床下位置に出土した石敷き遺構が何のためのものかという質問があり、発掘担当者から一つの案として、ゆるい地盤の部分を整地する目的が考えられると回答した。

遺構を保存した上で盛り土し、復元する際は耐震補強を行なうよう指摘がされた。

(協議事項)

(1) 平成30年度事業計画について

整備委員会の日程を9月26日（木）に決定。

発掘調査の今後の調査について、石敷きが地盤改良を目的とするものなのか、また、根石についても特徴的な根石を1箇所1/4位断ち割って調査する必要があるといった意見があった。

(2) 島田宿大井川川越遺跡整備計画（案）について

整備計画（案）について委員から下記の意見が述べられた。

- ・ 計画の実施期間について計画書の前の方で述べて欲しい。
- ・ 整備計画が実施されることでどのように変わるのか、休める、楽しめる、学べるなどワクワクするようイメージできるものを示して欲しい。
- ・ 川会所以下各建物の整備の内容が一目で分かるものを一覧表で示して欲しい。
- ・ 立合宿の機能の中に宿泊機能があるが、トイレ、風呂、洗面のないところでどう対応するのか？
- ・ 公共交通あるいはタクシーによるルート提案も必要。
- ・ 通過交通について周辺にバイパス機能を持った道路整備の必要性についても触れて欲しい。
- ・ P 4 7 の修復の方針については、読み方によってはそれなら現代工法でやればいととられかねない。少し例示を入れて表現を直す必要がある。
- ・ P 5 1 の人口動態について河原一丁目、二丁目の境がどこか地図上に示して欲しい。

| | |
|-------------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ P 5 3 のモデルコースにある塚本家住宅については川越遺跡との関係がまだ明確でない。今のコースからは省いた方がいい。 ・ P 5 7 のサイン計画について、御影石を使った道標のデザインを使うなど江戸時代の景観に合わせた伝統的なデザインのモデル案を作って欲しい。 ・ P 7 0 で述べられている道路がどの道を指すのか地図と対応して示して欲しい。 ・ P 7 1 の運営組織、マネージメント組織を立ち上げる方向で取り組んで欲しい。 ・ 通過交通の問題については、交通量調査や交通実験など緻密な調査分析をやって地元、警察と協議するように。 ・ 観光客を増やすため現状団体バスがどれくらい来ているのか分かるような資料を提示して欲しい。 ・ 文章中に「まち並み」という言葉が出てくるが、家並みと区別して使う必要がある。 ・ 川越遺跡を学校の教材として活用する方策も入れて欲しい。 |
| 提出された資料等 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 会議資料 ・ 島田宿大井川川越遺跡整備委員会委員名簿 ・ 資料 1 島田宿大井川川越遺跡整備基本計画（中間報告書） ・ 資料 2 平成29年度川会所跡発掘調査箇所 ・ 資料 3 明日の川越遺跡を考えるワークショップⅡ実施報告書 ・ 資料 4 島田宿大井川川越遺跡整備基本計画（案） ・ 川会所発掘調査箇所 |
| 会議を所管する課の名称 | 島田市教育委員会文化課 |
| その他必要な事項 | |